



『マークのマジカルマーカ―』

第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター 四宮 孝郎（大阪西南RC）

「世界でよいことをしよう」の旗を掲げているロータリー財団を、走る車にたとえるならば、**年次基金寄付はガソリン**で必要不可欠のもの！！

と今年度の財団管理委員長マーク・ダニエル・マローニー氏は語っています。



『マークのマジカルマーカ―』とは、以下の5項目です。



1. 8月31日までに**年次基金**への**寄付を行い** 12月31日までに**恒久基金**寄付を行う。
2. **自動定期寄付**を利用する地区内の会員を増やす。
3. **ポリオプラス基金**への寄付を奨励し、地区運営のポリオプラス・ソサエティの設立または維持の方法を学ぶ。
4. 年次基金への毎年1,000米ドルの寄付を誓約したロータリー会員を認証する **ポール・ハリス・ソサエティ**への認識を高める。
5. 財団の**恒久基金**への寄付を増やすためのミリオンダラーイベントを計画するチームを編成する。

財団への寄付については年次基金寄付、恒久基金寄付、ポリオプラス基金寄付などがありますが、ロータリーの今日の活動を支える為のものが、年次基金であるのはご存じの通りです。寄付金額の多寡にかかわらず、すべてのロータリアンによる年次基金への寄付が、ロータリー財団を支えています。

実は、財団への寄付総額のうち、約5%は1人当たり25～99ドルの寄付によるものです。**「EVERY ROTARIAN, EVERY YEAR」**

日本のロータリアンにとって、昨年度から続く円安の為替傾向は厳しいものがありますが・・・しかし、下記の表にあるように**日本円では前年度実績を上回っています！**

年次基金 ^①			寄付合計 ^②		
2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤	2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤
US\$11,901,024.93 ^⑥	US\$11,141,160.71 ^⑦	93.62% ^⑧	US\$16,340,415.06 ^⑨	US\$16,411,015.16 ^⑩	100.43% ^⑪

*2022-23年度は災害救援基金が年次寄付に含まれていますが、23-24年度からは含まれなくなりました。④

年次基金 ^①			寄付合計 ^②		
2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤	2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤
¥1,570,464,053 ^⑥	¥1,608,991,690 ^⑦	102.45% ^⑧	¥2,210,263,142 ^⑨	¥2,419,404,059 ^⑩	109.46% ^⑪

*公益財団ロータリー日本財団で受領した日本円の寄付額^②



これからも我々はロータリアンである誇りと自信を胸に、「世界でよいこと」の実現に向かって**ガソリン**を補給し続けてまいろうではありませんか！



第2地域 ポリオ根絶コーディネーター 柳生 好春（野々市 RC）

7月17日に国際ロータリーが加盟するGPEIのポリオ監視委員会で野生型ポリオ根絶を証明する期限が2027年に延長、変異型ポリオウィルスについては2029年に延長された。今年度は残念ながら野生型ポリオの発症数は前年度の同時期を上回っている。ロータリーは1985年から粘り強くポリオ根絶に向けて取り組んできたが、ここにきて会員の一部に厭戦気分にも似た感情があることを見聞きする。

ロータリーの4つの「ボイス」の1つに「粘り強さ」が掲げられていることをご存知だろうか。「ポリオ根絶」はロータリーが国際社会に約束した最重要テーマであり、ここで投げ出すわけにはいかない。また「約束を守る」は中核的価値観の1つ「高潔性」としてしばしば引用される。



これまでロータリーはポリオ根絶に25億米ドル以上を投入し、122か国、約30億人の子供に予防接種を行うため多大な時間をかけてきた。この実績が評価されWHOやUNICEFから高い評価を得、根絶の暁にはノーベル平和賞の受賞も取り沙汰されている。

6月にパレスチナのガサ地区で循環型変異型2型ポリオウィルスが下水サンプルから確認された。8月にワクチン接種歴のない乳幼児に感染が確認され、9月に入りハマスとイスラエルの間でポリオワクチン投与のための期間限定の停戦が実現した。大きくテレビなどのマスメディアで取り上げられ、日本人医師清田明宏氏の活躍をそこで知った。WHOに15年務め、現在はヨルダンのアンマンに本部を置く国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)の保険局長として精力的に活動している。氏は「ガザの不条理に目を背けるな」のメッセージを発信する。ロータリー活動の究極の目的が世界平和にあり刮目せざるを得ない。「ポリオの根絶」はその一里塚である。

EPNCの役割について考えてみた。ポリオ根絶に向けたファンドレイジングと理解の増進にあることは明白である。しかしこれを効果的に行うには「人間は事実や数値や方程式ではなく物語の形で物事を考える」(イスラエルの歴史家ユバル・ノア・ハラリ)が箴言である。

※GPEI 世界ポリオ根絶推進活動



第1地域 カルガリー国際大会 日本推進チームメンバー 伊藤 三之（山形北RC）

1 カルガリーでロータリーのマジックを味わいましょう！

今年度の国際大会は、2025年6月21日から25日まで、カナダのカルガリーで開催されます。カナダのロッキー山脈に囲まれた絵画のように美しい町で、世界中から集うロータリー会員と出会い、アイデアを分かち合い、交流することで、ロータリーがインターナショナルな団体であることを実感することができます。ロータリーのマジックをいたるところで感じ、ほかにはない体験を味わいましょう。

2 発想の転換をしてみれば！

まずは、場所。確かにカナダのカルガリーは遠いし、ほとんどの方は行ったことのない場所です。これまで何度か訪れたことがあり、なじみのあるシンガポールや、台湾、ホノルルとは違います。でも、だからこそ、ロータリーの国際大会のために、心を許しあえる多くの友と一緒に試してみる価値があるのでは。きっと新たな発見、新たな感動があるはず。一生の思い出になるでしょう。カルガリーには、言葉を失うほどの自然の美しさばかりでなく、カナディアン・ロッキーの湧き水と、世界最高峰の大麦に恵まれていることから、多くの著名なクラフトビール、さらには、日本のサントリーが所有するカナディアンウイスキー「アルバータ」蒸留所もあります。

次に、時期。6月下旬と言えば、ロータリーの年度末であり、次年度が間近に迫っている時期です。でも、だからこそ、クラブや地区、さらには多くの日本のロータリー会員の仲間と、そして世界の仲間と、一年間の苦勞を称え喜びを分かち合い、次年度へのエネルギーを蓄える絶好の機会となるのではないのでしょうか。

3 なるべく早く決断してね！

国際大会の登録料は、今年12月中旬、そして来年3月末を区切りにだんだん高くなっていきます。言うまでもなく、航空運賃、ホテル代ばかりです。なるべく早く検討し、計画し、決断する必要があります。

4 ご質問やご相談はお気軽に！

国際大会に関するご質問やご相談は、私たち日本推進チームメンバーにお気軽にお声がけください。できる限りのお手伝いをさせていただきます。

第1地域 伊藤三之(山形北RC) lawyer-i@js7.so-net.ne.jp

第2地域 樋口 明(神奈川RC) higutikk@violin.ocn.ne.jp

第3地域 安行英文(三田RC) mayfairchelsea@icloud.com



カルガリーでお会いしましょう！

カルガリー国際大会チラシ↑